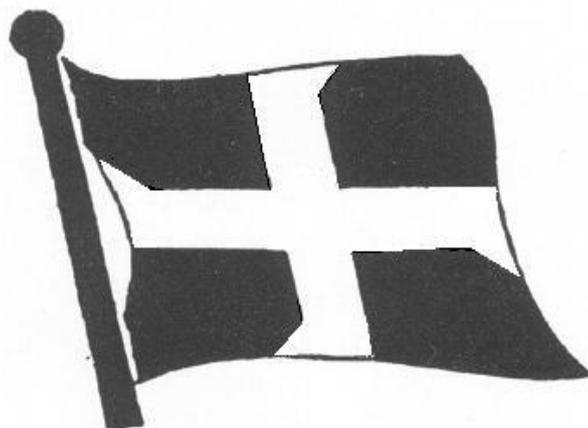


# 蒼穹ニユース

# No. 6

## 東大戦総括号

平成22年10月17日発行



### ～～～ 目 次 ～～～

1. 東 大 戦 の 結 果
2. 主 将 ・ 監 督 挨 拶
3. 東 大 戦 詳 細
4. 新 主 将 挨 拶
5. 新 幹 部 紹 介

東大戦結果

第 8 3 回 東京大学・京都大学対校陸上競技大会

総合優勝 京都大学 (通算 54 勝 29 敗)

総合得点

京都大学 198—163 東京大学

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	京大の得点	東大の得点
100m (+1.3)	眞武 俊輔 10.89	牧川 真央 10.92	西田 昂広 11.01	春日 慶輝 11.08	塚原 和明 11.15	菊池 典晃 11.35	13	8
200m (+0.6)	牧川 真央 22.38	眞武 俊輔 22.81	真木 伸浩 22.81	西田 昂広 22.86	塚原 和明 22.94	春日 慶輝 22.97	13	8
400m	大澤 渉 50.53	長谷川 聡 50.96	花岡 洋祐 50.99	上松 祐太 51.45	萩生 翔大 51.49	小松 侑太 53.25	11	10
800m	大川 亮 1.59.00	水元 惟晴 1.59.13	宿利 隆司 2.01.12	近藤 堯之 2.01.42	木内 久雄 2.05.45	原 慎一郎 2.06.65	15	6
1500m	小山 俊之 4.07.19	坂本 剛 4.09.51	大川 亮 4.11.65	池田 剛志 4.14.96	大内田弘太郎 4.19.64	渡邊 拓也 4.38.21	15	6
5000m	小山 俊之 14.49.52	山田 唯 14.57.60	東 大貴 15.02.49	柿本 悠貴 15.07.89	山田 竜也 15.24.55	宮野 健司 15.35.16	14	7
110mH (+0.8)	酒谷 彰一 15.45	増本健太郎 15.73	前田 靖朋 16.19	江間 輝裕 16.28	大橋 正義 16.29	近藤 勇太 17.12	7	14
400mH	酒谷 彰一 55.64	大橋 正義 55.89	上松 祐太 56.12	赤木 裕 58.06	田所 竜翔 60.54	前田 靖朋 64.75	8	13
5000mW	早川 晃司 21.37.02	瀧川 朗 21.55.73	永田 和寛 24.27.30	生谷 隆磨 24.39.59			3	7
4×100mR	東京大 [春日-西田-真木-増本] 43.04			京都大 [秋元-牧川-塚原-眞武] 43.10			2	6
4×400mR	京都大 [花岡-萩生-長谷川-大橋] 3.23.54			東京大 [真木-大澤-増本-定金] 3.23.98			6	2
トラック合計							107	87
走高跳	坂本 智 1m75	松室 堯之 1m70	小松 寛 1m70	地子 智浩 1m65	小西 康晴 1m60		7	13
棒高跳	小西 康晴 3m70	秋元 一志 3m60	田中 皓介 3m50	原 湖楠 3m20	土居 富裕 2m30	松原 浩也 2m30	15	6
走幅跳	西村 優汰 6m75(+1.2)	西田 昂広 6m52(+0.4)	秋元 一志 6m45(+0.5)	飯島 靖成 6m21(+1.9)	巽 浩之 6m01(-0.1)	八子 基樹 5m63(+1.4)	12	9
三段跳	西村 優汰 13m60(+1.5)	秋山 源 13m35(+0.1)	西田 昂広 13m33(-0.1)	廣瀬 彬 13m23(+0.4)	定金 駿介 12m52(+0.9)	飯村 大智 12m41(+0.3)	12	9
砲丸投	佐々木 駿 10m10	林 翔太 10m07	矢川 勝太 9m62	片山 卓也 8m82	高橋源一郎 8m26	原 湖楠 7m80	11	10

円盤投	林 翔太 <b>36m14</b>	佐々木 駿 35m70	矢川 勝太 <b>33m50</b>	片山 卓也 31m46	原 湖楠 27m38	川島 龍樹 <b>26m95</b>	11	10
ハンマー投	千葉 伸宏 37m30	高橋源一郎 <b>35m26</b>	矢川 勝太 <b>32m77</b>	佐々木 駿 28m24	今村 昌平 22m47	川島 龍樹 <b>12m70</b>	10	11
やり投	林 翔太 <b>51m94</b>	千葉 伸宏 50m30	矢川 勝太 <b>43m07</b>	川島 龍樹 <b>42m77</b>	原 湖楠 34m29	山東 誉英 32m77	13	8
フィールド合計							91	76
総合得点							198	163

## 第 9 回 東京大学・京都大学対校女子陸上競技大会

総合優勝 京都大学 (通算 5 勝 4 敗)

総合得点

京都大学 35—31 東京大学

	1位	2位	3位	4位			京大の得点	東大の得点
100m (+2.0)	釜谷美翔子 <b>13.22</b>	久保木 結 13.23	鈴木 理香 13.33	加奈山憲代 <b>13.35</b>			5	5
400m	釜谷美翔子 <b>61.53</b>	加奈山憲代 <b>62.47</b>	浜松 由莉 66.30	鈴木 彩夏 67.71			7	3
800m	岩橋 優 <b>2.19.35</b>	浜松 由莉 2.27.53	福谷 彩織 <b>2.32.87</b>	増田有里子 2.34.58			6	4
3000m	岩橋 優 <b>10.45.60</b> NGR	田中 友里 <b>11.13.53</b>	杉浦 奈美 11.28.22	鈴木恵美里 11.47.47			7	3
4×100mR	京都大 [増本-釜谷-岩橋-加奈山] <b>52.54</b>			東京大 [鈴木-久保木-武田-高山]			4	2
トラック合計							29	17
走幅跳	高山 花子 4m76(+1.9)	武田有希子 4m24(-0.8)	増本 梨奈 <b>4m11(+1.7)</b>	三村 有葉 <b>3m55(+1.3)</b>			3	7
砲丸投	武田有希子 7m51	高山 花子 6m73	増本 梨奈 <b>6m40</b>	市塚 友香 <b>5m85</b>			3	7
フィールド合計							6	14
総合得点							35	31

## 主将挨拶

去る10月9日、山城総合運動公園にて行われた東大戦において、男女アベック優勝という結果を収めることができました。冷たい雨の降りしきる中でしたが、多くの蒼穹会の皆様に競技場に駆けつけて応援を頂きましたことに、御礼申し上げます。

男子は接戦になるとの予想通り一進一退の攻防でしたが、800mでのスコルク勝ちを皮切りに後半の種目で一気に突き放す試合運びとなりました。4×400mRも劇的な逆転で飾り、198-163という大差での勝利となりました。また女子は予想通りの熱戦になり、最終種目の4×100mRを制し5連覇を達成することができました。

審判、補助員も含め、部員全員が勝ちたいという気持ちを持ち、一丸となれたことが勝利を手繰り寄せたのだと思います。今シーズンは目標に届かず、悔しい思いをしてきましたが、先日のびわ湖予選会を併せ、この東大戦で目標を達成する結果を出せた事は、今後につながる事だと考えております。

これを持ちまして秋元(跳・3)を新主将とする新チームに交代となります。今大会で活躍した、眞武(短・2)・牧川(短・1)・西村(跳・1)をはじめ、ここでは紹介しきれない程、若い力が育ってきており、今後の更なる飛躍を目指し、より一層の研鑽を期待しています。

主将在任の1年間、蒼穹会の皆様には大変お世話になり、心から感謝しております。来年度も現役部員への変わらぬご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 小山 俊之

## 監督挨拶

雨の降りしきり中での過酷な試合となった今年の東大戦でしたが、男子は2年ぶりの総合優勝、女子は初優勝以来続く連勝を伸ばし見事な5連覇となりました。

男子は、序盤400mRでの敗北など東大にリードされる場面もありました。しかし、出場した選手、応援、審判、マネージャーの一人一人が自分の役割をしっかりとこなし、緊張感を最後まで持続し続けたことによって、結果35点という大差で優勝することができました。東大勢の不振があったとはいえ、勝てるチャンスをものにできたのは大変価値のあることです。

女子は、ほぼランキング通りの試合展開で、予想通り400mRでの決着となりました。こちらも一人一人が自分のなすべきことをやりとげた結果であったと思います。ついに通算成績で5勝4敗と逆転し、新しい歴史の幕を開きました。

ただ、チームとしての勝利に隠れて、悔しい思いをした部員も多いはずですが。出場できなかった選手も含めて、それぞれが反省し、次なる目標に向けて精一杯取り組むこと、その先にチームとしての成長があるのだと信じています。今回の勝利をステップに、さらなる高みを目指して、新主将の秋元と上田を中心としたチームで、一步一步確実に進んでいって欲しいと思います。

諸先輩方におかれましては、悪天候にも関わらず応援に駆け付けていただきまして、誠にありがとうございました。今後とも、御支援・御声援のほど、宜しくお願い申し上げます。

京都大学陸上競技部監督

平子 達也

## 東大戦詳細

### 100m (+1.3)

優勝	眞武 俊輔	(2)	10.89
2位	牧川 真央	(1)	10.92
5位	塚原 和明	(1)	11.15

男子100mには眞武・牧川・塚原が出場した。最初の競技ということで100mの結果がその後の京大の流れに影響を与えるというプレッシャーの中でのレースであったが、眞武はスタートから勢いよく飛び出すと上手くスピードに乗り見事10"89で1着でゴールし、東大の西田に去年のリベンジを果たしてくれた。牧川は得意のスタートから上手く加速に繋ぎ追い上げる東大の西田を振り切り10"92の2着でゴールした。塚原はスタートはやや出遅れたものの得意の後半でしっかりスピードに乗り11"15の大学ベストを出し5着でゴールした。100mは東大と5点差をつけて勝利し、京大に勢いをもたらしてくれた。(神谷)

### 走高跳

2位	松室 堯之	(3)	1m70
5位	小西 康晴	(4)	1m60
	巳波 壮馬	(4)	NR

雨で足元が安定しなかったのか全体的に記録は低調なものとなった。田中皓に急遽代わって出場した小西はまず1m50をクリアし、その後1m60は一発で成功。しっかりと役目を果たした。松室は1m65の1回目を失敗し心配させたが、最終的に1m70をクリアし2位に食い込んだ。巳波は1m70に挑んだが惜しくも記録を残すことはできなかった。(藤澤)

### ハンマー投

2位	高橋源一郎	(3)	35m26
3位	矢川 勝太	(3)	32m77
6位	川島 龍樹	(3)	12m70

予定より5分早く開始された男子ハンマー投は、強い雨と寒さという最悪のコンディションの中、行われた。足下が滑り、ファールが続出する中、高橋は2投目にベストまであと2cmの35m26。矢川も2投目にベストまであと1mに迫る投擲。川島はファールに苦しんだが3投目に記録を残すことができた。得点に関しては京大が10点、東大が11点をそれぞれ獲得し、1点負け越したものの前評判以上の結果であったと言えよう。(神野)

### 女子100m (+2.0)

優勝	釜谷美翔子	(1)	13.22
4位	加奈山憲代	(2)	13.35 PB⑦

女子最初の種目100mでは、一旦止んだ雨が再び降りだすという厳しい天候で、コース上にはうっすらと水が張っていた。スタート直後、まず釜谷が飛び出し、その後は僅差でトップを争う展開となった。そのすぐ後ろには加奈山が付き、粘りの走りを見せた。苦しい戦いの中、釜谷はラストで競り勝ちトップの座をもぎ取った。これで一気にチームを勢い付けた。加奈山は、惜しくも前に追い付くことは叶わなかったが、自己ベストを更新した。(山口昌太)

### 1500m

優勝	小山 俊之	(4)	4.07.19
2位	坂本 剛	(4)	4.09.51
3位	大川 亮	(3)	4.11.65

肌寒く小雨が降る中、1500mには小山俊・坂本・大川の3人が出場した。スタート直後から小山が先頭を引っ張り、一周66~67秒でレースは移行した。これに東大勢はついていくことができず1000mあたりで先頭は京大の3人にあっさり絞られる。この後にもレースが控えている小山、大川の2人は体力を温存する走りに切り替えた。小山、坂本、大川の順でゴールし、京大の完全勝利。大きな流れを引き込んだのは言うまでもない(久好)



最後の東大戦を1500m、5000mの2冠で飾った小山俊

## 110mH (+0.8)

3位	前田 靖朋 (4)	16.19
5位	大橋 正義 (3)	16.29
6位	近藤 勇太 (1)	17.12

男子 110mH は天候とタイムからすると、3 人とも持てる力をしっかりと発揮できたと思われる。だが前田は前半こそ良い流れであったが後半のハードリングで若干バランスを崩し、そこから失速したように見えた。それでも 3 位に食い込みスコンクは阻止した。ここ最近この種目で京大は良い結果をあまり残せていないため、今回悔しい思いをした大橋、近藤、そして今大会怪我で出場出来なかった清水に来年は頑張ってもらいたい。(橋本)

## 走幅跳

優勝	西村 優汰 (1)	6m75(+1.2)
3位	秋元 一志 (3)	6m45(+0.5)
5位	巽 浩之 (1)	6m01(-0.1)

男子走幅跳は、悪天候の影響か全体的に低調な結果となった。西村は優勝はしたものの、記録は 6m 台と物足りないものであった。秋元も 3 位に入り仕事は果たしたように思えるが、記録は満足のいくものではなかっただろう。巽は大会前に不調だと言われていたが、なんとか 5 位に入った。(橋本)

## 女子走幅跳

3位	増本 梨奈 (1)	4m11(+1.7)
4位	三村 有葉 (1)	3m55(+1.3)

雨足が強まるなか始まった女子走幅跳。京大からは増本・三村の 2 人が登場。2 人とも専門外の種目であったが、果敢に跳躍に挑んだ。三村は寒さもあってか序盤は苦しんだが、先輩のアドバイスもあって最終跳躍には納得の出来。増本も 3 回目以降は苦しんだが最終跳躍でいい感覚を掴めたようであった。結果 3、4 位となるも次に繋がる形を残せたようだ。(水上)

## 円盤投

優勝	林 翔太 (3)	36m14
3位	矢川 勝太 (3)	33m50
6位	川島 龍樹 (3)	26m95

次第に雨足が強まる中、男子円盤投が始まった。京大からは、川島・矢川・林が出場した。雨がサー

クルにたまるという悪条件ながら、3 人は確実に記録を残していく。5 投目を終えた時点でトップに立っていたのは東大の佐々木で、京大は、林が 2 位、矢川が 3 位、川島が 6 位だった。なんとか勝ち越しをと思った 6 投目、林が素晴らしい投擲を見せ逆転し、1 位になった。これにより、東大に勝ち越し、よい流れとなった。(林真幸)

## 400m

2位	長谷川 聡 (2)	50.96 PB
3位	花岡 洋祐 (1)	50.99
5位	萩生 翔大 (4)	51.49

男子 400m には萩生・長谷川・花岡の 3 人が出場した。スタートから花岡が快調に飛ばし東大の選手と先頭争いを繰り広げる。一方、萩生と長谷川は先頭を伺う位置に付く。そのままレースは進んでいくが、ラスト 100m で長谷川が猛烈なスパートをかけ前を走る選手を抜き去り見事 2 位でゴールした。続いて花岡が 3 位、萩生も粘りを見せ 5 位に入った。長谷川は自己ベストであり、またこの種目東大に勝ち越しを決め午後のマイルリレーに期待を持たせる試合となった。(横山裕樹)

## 女子 800m

優勝	岩橋 優 (2)	2.19.35
3位	福谷 彩織 (4)	2.32.87

大雨が降り、肌寒い天候の中、競技が行われた。出場選手は岩橋・福谷の 2 人であった。スタート直後は 4 人で集団を形成していたが、徐々に東大の増田が遅れ始め、岩橋が 1 位、福谷が 3 位の 3 人の集団が先頭となった。200m 付近で福谷が離れ、岩橋と東大の浜松の 2 人の勝負となった。ラスト 1 週付近で岩橋が突き放し、そのまま 1 着でゴール。圧倒的な実力の差を見せつけた。福谷も粘りの走りでも東大の増田の追撃をかわし、3 着でゴールした。(古菌)

## 4 × 100mR

2位	43.10
[秋元一志(3) — 牧川真央(1)	
— 塚原和明(1) — 眞武俊輔(2)]	

1 走の秋元はスタートで出遅れた東大を引き離し 2 走の牧川へうまくバトンをつないだ。牧川は思ったほどスピードがでなかったせいか 3 走塚原とのバトンパスをミスし若干のタイムロス。塚原は遅れを取り戻す果敢な走りを見せてくれた。そしてアンカ

一眞武へのバトンパスはうまくいったが、眞武が足をつるアクシデントで一旦停止してしまい、そこから追いついたがあと一步届かなかった。(桐山)

### 5000mW

3位 永田 和寛 (2) 24.27.30  
4位 生谷 隆磨 (4) 24.39.59

京大の生谷と永田は、東大の2人とはタイム的にかかなりの差があったが、その通りの厳しい戦いを強いられた。序盤から東大の2人は先行し、そのままゴールした。一方、生谷は中盤までは永田の前に位置し、最後の東大戦で意地を見せたいところであったが終盤で永田に先行されるとそのまま差を詰めることが出来ず永田、生谷の順にゴールした。2人とも東大とはかなり差がついてしまったが最後まで気持ちを切らせることなく歩き切った。(西田)

### 棒高跳

優勝 小西 康晴 (4) 3m70  
2位 秋元 一志 (3) 3m60  
3位 田中 皓介 (3) 3m50

棒高跳には小西・秋元・田中皓が出場。強い雨が降るなかではあるが3人とも着実に記録を伸ばして行き、東大とは力の差があるこの種目で早々と昨年に続いてのスコンクを決めた。秋元は3m60で競技をやめ、小西が3m70を成功させたところで田中も先日怪我をした足のことを考え、跳ばないことを選択。これによって小西が最後の東大戦を優勝で飾った。(四辻)

### 女子 400m

優勝 釜谷美翔子 (1) 61.53 CB⑤  
2位 加奈山憲代 (2) 62.47

雨が降りしきる中始まった女子400mには加奈山・釜谷が出場した。序盤一番外側の釜谷が軽快に飛ばし後続と差を付ける。加奈山は前の東大の選手に付き、後ろから虎視眈々と前を狙っていた。200mを過ぎると加奈山がここぞとばかりに飛び出し、前の選手を抜き去り釜谷と並ぶ。そこからは2人そろってどんどん東大の選手を離れていき、釜谷1位・加奈山2位でゴールし、見事にスコンクを決めてくれた。(山崎)

### 800m

優勝 大川 亮 (3) 1.59.00  
2位 水元 惟暁 (2) 1.59.13  
3位 宿利 隆司 (2) 2.01.12

男子800mには大川・水元・宿利の3人が出場した。レースは序盤の方はスローペースで進み、大川・水元の2選手が集団を引っ張り宿利が後ろで走る形で進んでいった。レースが動いたのは2周目600m。先頭の大川・水元が一気にスパートし後続との差を広げ、激しいスパート合戦を大川が制した。宿利も懸命のスパートで3位を死守してスコンクを達成し、京大に勢いをつける走りになった。(荒木)



800mでワンツーフィニッシュした大川(一番左)と水元(一番右)

### 200m (+0.6)

優勝 牧川 真央 (1) 22.38  
2位 眞武 俊輔 (2) 22.81  
5位 塚原 和明 (1) 22.94

朝から大雨が降り続き、コンディションの悪い中で行われた男子200mには眞武・牧川・塚原の3人が出場した。競技は5分遅れの13時35分にスタート。牧川はスタートすると同時に飛び出すことに成功し、眞武、塚原もまずまずのスタートを切る。100m過ぎにかけても牧川はそのリードを保ったまま快調に飛ばす。他の2名は中盤につけ上位にくらいついていく。最後まで牧川は先頭を譲らず2位以下に大差をつけて見事1着でゴール。眞武は終盤に激しい競り合いを見せ、最後に僅差で競り勝ちこちらも見事2位でゴールした。塚原も粘りを見せ5位でゴールした。(宮原)

## 砲丸投

2位	林 翔太 (3)	10m07
3位	矢川 勝太 (3)	9m62
5位	高橋源一郎 (3)	8m26 PB

大雨に強風という非常に悪天候な中行われた男子砲丸投であるが、京大の林・矢川・高橋は見事な投擲を見せてくれた。特に林は素晴らしい投擲で、トップの東大の選手に3cmまで迫ったが、惜しくも2位だった。また矢川と高橋もハンマーと円盤を投げた後で疲労があったにもかかわらず力強い投擲をした。これが天気にも恵まれていたらと思うと残念でないが、十分にチームを盛り上げてくれただろう。(多田)

## 女子砲丸投

3位	増本 梨奈 (1)	6m40 PB
4位	市塚 友香 (3)	5m85

女子砲丸投に出場したのは市塚・増本の2人。市塚は1投ごとに投げ方を変え、なんとか記録を伸ばそうとする。しかし専門としていない種目ということもあり、それは叶わず悔しい結果となってしまった。増本もこの種目は専門ではない。その大雨が降り続けるという最悪のコンディションの中で集中力を高めるのは難しかったと思われるが、自己ベストを更新し2位に迫る投擲を見せてくれた。(高田)

## 三段跳

優勝	西村 優汰 (1)	13m60(+1.5)
2位	秋山 源 (5)	13m35(+0.1)
6位	飯村 大智 (2)	12m41(+0.3)

出場選手は秋山・飯村・西村の3人。昨年度東大にスコルクを許し、雪辱を期し臨んだ。秋山は思う存分試合調整ができなかったと言うが、しっかりと記録を残し、結果は見事2位。西村は走幅跳にも出場していたが、その疲れを微塵も見せず優勝し走幅跳との2冠を達成した。飯村は雨のせいもあってか思うように記録が伸びず6位と悔しい結果となった。全体では京大12点、東大9点と勝ち越し、昨年の借りをしっかりと返すことができた。(堀江)

## 400mH

2位	大橋 正義 (3)	55.89
5位	田所 竜翔 (4)	60.54
6位	前田 靖朋 (4)	64.75

男子400mHには前田靖・田所・大橋の3人が出場した。スタートから極端に飛び出す選手はおらず、200mを過ぎてからの勝負となった。レース序盤、前田と大橋は一定のペースをキープ。田所は少し遅れる展開となった。6台目まで順調にきていた前田だったが7台目で足を取られて失速。最後まで粘りの走りをしてきた田所に続く6着でのゴールとなった。安定した走り続けた大橋は、直線の混戦の中、必死のラストスパートで2着をつかみ取ってくれた。(渡邊)

## やり投

優勝	林 翔太 (3)	51m94
3位	矢川 勝太 (3)	43m07
4位	川島 龍樹 (3)	42m77

本日最後の投擲種目となるやり投に出場したのは林・矢川・川島の3人。大雨の中で林・川島は3種目目、矢川は4種目目の出場ということでかなり疲労した中での競技となった。このような状況の中、3人ともいつも通りの投擲とはいかなかったものの林は51m94で東大の千葉を僅差で振り切り投擲種目3冠を成し遂げた。川島は故障の影響もあり42m77の記録を残すと、残りは投げないことを選択した。矢川は50m台を狙う気迫のこもった投擲を最後まで諦めることなく続けた。その結果、事前のランキング通り東大に勝ち越し、投擲種目の最後を飾った。(高田)



出場した投擲3種目全てに優勝した林翔太

## 女子 3000m

優勝 岩橋 優 (2) 10.45.60  
2位 田中 友里 (1) 11.13.53 ♪⑩

吹き付ける風と大降りの雨で震えるような寒さの中、女子 3000m が行われた。序盤は集団でゆっくりとしたペースだったが、1000m 付近で岩橋が先頭に出た。2000m を過ぎると岩橋はペースを上げ、後ろとの差を大きく広げた。それと同時に田中も前に出てスパートをかけた。そのまま岩橋が 1 着でゴールし、タイムも大会新であった。田中も安定したペースで走りきり見事 2 着。試合後岩橋は、ワンツーフイニッシュ出来て良かった！と喜んでいて、田中も東大に勝てて良かった！と満足そうな表情だった。(伊藤慶紗)

## 5000m

優勝 小山 俊之 (4) 14.49.52  
2位 山田 唯 (4) 14.57.60 PB⑩  
4位 柿本 悠貴 (4) 15.07.89

スタートとともに小山が先頭に立ちレースを引っ張り、序盤は山田と柿本が東大勢相手に、集団内で激しい競争を展開する。中盤になり東大勢の内 2 人が引き離される。小山と山田が 2 人で飛び出しタイムを狙う走りに切り替え、柿本も必死に 3 位争いを繰り広げる。最後は小山が主将の意地を見せるラストスパートで優勝。山田も自身初の 14 分台での 2 着でゴール。しかし柿本は惜しくも 3 位争いに敗れ京大の上位独占はならなかったが、3 選手にとって最後の東大戦を勝利に導く、見事な走りであった。(阿部)

## 女子 4 × 100mR

優勝 52.54  
[増本梨奈(1) — 釜谷美翔子(1)  
— 岩橋優(2) — 加奈山憲代(2)]

1 走の増本は外側レーンのリードを詰められてしまうが 2 走の釜谷の力強い走りで奪われたリードを埋める。3 走の岩橋は多種目で優秀な成績を納めた締めを綺麗に飾る。アンカーの加奈山にバトンが渡った時点では東大に若干のリードを奪われていたがスパートで見事な巻き返しを見せリレーに勝利した。このリレーに勝利したことで女子は見事、東大戦 5 連覇を達成した。(志波)

## 4 × 400mR

優勝 3.23.54  
[花岡洋祐(1) — 萩生翔大(4)  
— 長谷川聡(2) — 大橋正義(3)]

盛り上がりを見せる東大戦、その最後を締めくくる男子マイル。1 走は 400m で 50 秒台を出し好調の花岡だが、やはり疲れのせいか持ち味の伸びを欠き、差をつけられてしまう。2 走萩生は粘りの走りを見せ 3 走の長谷川に希望をつなぐ。長谷川も 50 秒台の自己ベストを出し好調であり、一気に差を詰め東大を抜いて大橋へ。アンカーの大橋は 200m 手前で抜かれ一瞬負けかと思われた。しかしラスト 80m から猛烈なスパートで劇的な勝利を収め、京大の総合優勝に花を添えた。(水谷)



劇的な勝利を収めたマイルリレーのアンカー大橋

## オープンの部結果

▼5000mW  
中村 幸平 23.36.54  
▼走幅跳  
三浦 裕介 9m77

## 新主将挨拶

この度、新たに主将を務めさせていただくことになりました秋元一志です。今年度は関西インカレ、七大会とかかげた目標に届きませんでした。シーズン後半のびわ湖予選1位通過、2年ぶりの東大会優勝と良い流れになりつつあります。

各パートのエース級の4回生が抜けますが、有望な1回生や2, 3回生の成長もあり期待の持てるチームになっています。来期こそは今期達成できなかった関西インカレ1部昇格、七大会優勝、そして東大会の連覇という三大目標を達成できるよう部員全員が日々努力をします。まずはこの流れにのり、関西学生駅伝にて上位入賞という結果を残していきたいと思っております。

蒼穹会の皆様におかれましては今後とも変わらぬ暖かいご支援、ご声援のほどをよろしくお願いたします。

京都大学陸上競技部新主将

秋元 一志

## 新幹部紹介

主将	秋元 一志
副将	大川 亮
女子主将	上田 容子
主務(学連担当)	大橋 正義
主務(渉外担当)	内田 健弥
主務(体育会担当)	山田 諒
短短パートチーフ	山田 諒
短長パートチーフ	大橋 正義
中距離パートチーフ	大川 亮
長距離パートチーフ	板垣 亮
跳躍パートチーフ	田中 皓介
投擲パートチーフ	矢川 勝太



---

蒼穹ニュース 平成22年度 第6号

平成22年10月17日 発行

---

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：飯村大智・高田裕人・藤澤健斗（副務）

特別協力：鈴木大河・宿院 享（学連員）

加奈山憲代（記録係）・秋元一志（HP係）

写真担当：河本聡・永田和寛・長谷川聡

---

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>

陸上競技部記録 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/kiroku/index.htm>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス [fujisawa0923@gmail.com](mailto:fujisawa0923@gmail.com)（藤澤）